

# 北九州をめぐるアート展

Morikazu Kumagai  
Yasukazu Tabuchi  
Tomonori Toyofuku  
Gyoji Namiyama  
Ryo Hirano  
Kiyonori Bori  
Fuyuko Matsui  
Yukinori Yanagi  
Wei-li Yeh  
Christo  
Gerhard Richter  
Julian Opie

vol.4



ゲルハルト・リヒター「アブストラクト・ペインティング」1988年 ©Gerhard Richter

Found Beauties from Company and Private Collections in Kitakyushu

油彩、版画、彫刻作品など企業・個人秘蔵の美術コレクションを一堂に公開

熊谷守一、田淵安一、豊福知徳、野見山暁治、平野遼、母里聖徳、松井冬子、柳幸典、  
葉俤立、クリスト、ゲルハルト・リヒター、ジュリアン・オピーなど

2010 2/10[水] → 3/9[火]

会場：北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

開館：10時～18時 月曜休館

観覧料：一般200円、高大生100円、65歳以上及び小中生以下無料 \*前売り料金及び団体料金の設定なし

主催：北九州市 企画：特定非営利活動法人(NPO法人)劇を考える会・北九州

協力：新日本製鐵株式会社八幡製鐵所、千草ホテル、個人コレクター各氏、北九州市立美術館、成山画廊、モマコンテンポラリー

後援：朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞社北九州支局、時事通信社、社団法人共同通信社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送、九州旅客鉄道株式会社、西鉄バス北九州株式会社、北九州モノレール、FM FUKUOKA、cross fm、LOVE FM、FM KITAO、株式会社ジェイコム北九州、アヴァンディ北九州、株式会社サンマークNissei編纂部、サンデー新聞北九州支社、生活情報誌ポスト、西日本リビング新聞社

\*所蔵元の都合により、出品作家・作品が変更になる場合もあります。

Design k.f.g

北九州市立美術館 電話番号0930002300

# 北九州をめぐるアート展

Found Beauties from Company and Private Collections in Kitakyushu

## vol.4



グーヘルハルト・リヒター「アブストラクト・ペインティング(赤子)」1986年 ©Gerhard Richter

### 油彩、版画、彫刻作品など 企業・個人秘蔵の美術コレクションを 一堂に公開

北九州市内の企業・個人が所蔵する美術作品を集め、2007(平成19)年から開催している「北九州をめぐるアート展」は、今回で4回目を迎えます。企業・個人蔵ともめったに公開されない作品ばかりのため、このような展覧会でしか目にすることができない貴重な機会といえるでしょう。

明治時代から日本の近代化を牽引してきた北九州市は多くの企業の発祥地です。それらの企業が経済とは別の側面で地元を支えているのが美術収集で、1974(昭和49)年に西日本の公立美術館の先駆けとして北九州市立美術館が開館して以来、多くの貴重なコレクションを寄贈・寄託し、この街の文化の一端を担ってきました。また市内には作家を支援し作品を所蔵している個人の美術愛好家が多くいます。今回、新たに調査した企業・市民所蔵の作品約20点をご紹介します。アートを通じて企業・市民・行政が協力し合う事は、地域活性を考えるひとつの方法ともいえます。この展覧会で北九州市が産業だけでなく、文化的にも誇れる都市であることをより多くの方に知っていただきたいと思います。



ジュリアン・オビー「Ruth with cigarette 2」2005年  
Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE



経見山範治「パリの居敷」1955年



平野徳「囁い響だけ」1959年



堂立立「46-3, 37th Alley, 230th Lane Three Places」  
Photographs 2002 to 2005, 2006年



松井幸子「切割された長崎の実験」2004年



### 北九州市立 旧百三十銀行ギャラリー

北九州市八幡東区西本町 1-20-2 TEL093-661-9130

#### 交通案内

JR/八幡駅下車 徒歩5分  
西鉄バス/系統番号1番,22番 尾倉町下車 徒歩5分  
ギャラリー隣に駐車場有(15台)

